



府立須知高等学校の在り方検討会議(第2回)
＝ 配布資料 ＝
(平成29年3月21日)

名 称	頁番号
小規模化による高校教育への影響について	1
須知高校の教育内容への影響等について	2
平成29年度入学者選抜の状況について	3
須知高校の課題と方向性の検討に当たって	4
他府県の公立高校(全日制)における全国募集の事例	5
全国募集の詳細例(島根県)	9

(参考)第1回配布資料

須知高校の入学者状況(出身中学校別)	参考1
地元中学校(京丹波町)卒業生徒の進路状況	参考2
口丹地域の高校毎の通学区域等	参考3

小規模化による高校教育への影響について

1 高校教育の特徴（多様な教育課程）

高校の授業には、卒業後の希望進路や、興味・関心に応じて、生徒たちが選択できる教科・科目がある。各高校では、生徒の希望進路に適したコースを設定し、時間割を組み立てるが、こうした時間割の設定を「教育課程」という。下の表は高校の文系・理系コースの例であり、文系には「地歴・公民」の科目が多く、逆に理系には「理科」の科目が多くなっている。このように、選択科目を設けて指導することが高校教育の大きな特徴である。生徒の様々なニーズにあった教育課程を設定するとともに、担当する教員の確保も重要となる。

文系	国語	地歴・公民	英語	数学	理科	共通の科目
理系	国語	地歴・公民	英語	数学	理科	共通の科目

2 小規模校化により想定される主な課題

○生徒数減少

- ・学校行事や生徒会活動等の活力が乏しくなる。行事の精選も必要となる。
- ・希望進路に応じたコースの設定や選択科目の開講が行えない可能性がある。
- ・部活動での部員数の確保が困難となる。団体競技においては公式戦に出場できなくなること考えられる。

○教員数減少

- ・生徒の多様な希望に対応した教科等の設定が難しくなる。
- ・適正な分掌配置が困難になり、校務分掌業務に支障をきたす可能性が生じる。
- ・非常勤講師の担当授業が増え、授業以外での生徒の質問への対応や放課後補習等の指導が難しくなる。
- ・部活動での顧問数の確保が難しくなる。

3 教育課程上の影響

定 員	360人(1学年3学級)				240人(1学年2学級)		
標準法に基づく算定定数 ・ 教科別教員数の配当例	22人	国 語 3	保健体育 3	15人	国 語 2	保健体育 2	
		地歴公民 3	芸 術 2		地歴公民 2	芸 術 1	
		数 学 3	英 語 4		数 学 3	英 語 3	
		理 科 3	家 庭 1		理 科 2		
コ ー ス 分 け	3つのコースを設定可能				2年より文系・理系の選択は可能		
習 熟 度 別 授 業 ・ 少 人 数 講 座	国語:科目「国語表現」で少人数 数学:1、2年で習熟度、少人数 英語:全学年で習熟度、少人数				教科の教員数が3人未満の場合は 実施困難		
選 択 科 目	就職希望者用の選択科目開講 2年次、3年次に商業科目、家庭科目を4単位程度開講				選択科目開講は本務者や定数内 講師での対応は不可		
週当たりの授業時間数	1、2年:32時間、3年:30時間				全学年:30時間		

須知高校の教育内容への影響等について

1 須知高校の在籍生徒数の推移

年度	H元	H5	H10	H15	H20	H25	H26	H27	H28
人数	714	580	482	383	317	255	262	238	206

各年5月1日現在

2 地元地域（京丹波町）の中3生数と募集定員の推移

選抜年度	H元	H28	H29 (今回)	H37 (推計)
京丹波町 中3生数※	301	119	132	90
募集定員	265	100	100	70

※合併前は旧町の計による

3 須知高校の教育への影響

◇高校の設定コースと科目（3年生の例）

学科	コース	必修科目＋選択科目															
普通	スタンダード	国語 (現代文・古典)		数学	体育	英語	+	社会 (日本史) 社会 (地理)		+	情報 生物	+	国語 フードデザイン		+	社会 (政治経済) 音楽 美術	
	アドバンス 文理 (人文・理数)	国語 (現代文・古典)		体育	英語		+	社会 (日本史)		+	理科 (物理)		+	国語 数学		英語 化学	
	アドバンス 文理 (SA)	国語 (現代文・古典)		体育	英語		+	社会 (地理)		+	理科 (生物)		+	国語 数学		英語 化学	
食品科学科	食品加工	国語	社会 (現代社会)	体育	英語	広告 と販売 促進	+	理科 (化学)	+	数学	+	果樹 草花	食品製造	+	課題研究	総合実習	
	公園管理							理科 (生物)		スポーツ 調理		公園管理 動物飼育					

- ◆多様なコースを設定するための前提として、
「集団として効果的に学べるよう一定の生徒数が各コースに確保されること」
「各コースで多様な教科・科目を教えることができる教員数が確保されること」が必要。
- ◆学校の小規模化により、
「コース毎の生徒数が極端に少なく、活発な教育活動が行えなくなる可能性」
「教員数が減るため多様な教科・科目の授業が行えなくなる可能性」が生じる。

⇒ 生徒一人一人の希望進路を実現する

多様な教育課程の編成が困難に..

平成29年度入学者選抜の状況について

選抜の実施状況

- ・前期選抜(2月16日、17日)、中期選抜(3月7日)を実施
- ・合格発表は、前期選抜は2月22日、中期選抜は3月16日

前期選抜及び中期選抜の合格者数の合計により入学者見込を算出

◆口丹通学圏

課程	校名	学科名	募集 定員	前期選抜 (2/16、17実施)		中期選抜 (3/7実施)		計(C) (A+B)	定員 充足率	差引 (募集定員 -C)
				募集人員 (前期)	合格者数 (A)	募集人員 (中期)	合格者数 (B)			
全 日 制	北桑田	普通	60	12	12	48	24	36	60.0%	-24
		森林リサーチ	30	21	20	10	0	20	66.7%	-10
	亀岡	普通	240	48	48	192	192	240	100.0%	0
		普通(美術・工芸)	40	40	33	—	—	33	82.5%	-7
		数理科学	40	28	17	23	3	20	50.0%	-20
	南丹	総合学科	180	126	126	54	54	180	100.0%	0
	園部	普通	100	20	20	80	76	96	96.0%	-4
		京都国際	30	21	17	13	3	20	66.7%	-10
	農芸	農業学科群	110	77	77	33	20	97	88.2%	-13
	須知	普通	60	12	12	48	25	37	61.7%	-23
		食品科学	40	28	20	20	2	22	55.0%	-18
定 時 制	北桑田 (美山)	農業・家政	40	20	8	32	0	8	20.0%	-32

前期選抜では、課程・学科の種類によって募集割合を設定(例 普通科 募集定員の20%)

須知高校の課題と方向性の検討に当たって

◇課題

- 学区内（京丹波町）の児童生徒数の減少
- 中学生の進路希望の多様化（地元中学校からの志願者の減少）

◇方向性の検討に当たって

府立高校の役割

- 生徒の個性や能力を最大限に伸ばす教育
（多様な学びの場の保障、教育環境の充実、教育の質の維持・向上、希望進路の実現等）
- 各地域の将来を支える人材の育成
- 地域社会の活性化への貢献

検討の視点

地域の子どもたちの教育環境

- ◎一人一人の能力や個性を伸ばすため、多様なニーズに対応した創意ある教育活動を展開し、生徒の希望進路の実現に向けた取組を進める。
- ◎中学生が自らのキャリア形成に向けて、目的意識を持って、主体的に高校を選択できるようにする。

地域における高校の役割

- ◎地域の将来を支える人材の育成
- ◎地域産業の後継者育成
- ◎地域創生における高校があることの意義

「地域の子どもたちの教育環境」の視点からの検討（一例）

須知高校を残す

【主な課題等】

小規模化に伴う課題をできる限り解消する手立てが必要

- 規模を維持する取組
 - 普通科の学区の在り方
（口丹通学圏の他校も含めた検討が必要）
 - 他地域や他府県からの受入策
 - 選ばれる学校づくり(学科の見直しなど)
 - 通学の利便性の確保
- 他校との連携

存続の形態：本校・分校・学舎制

他校と統合する

一定規模のある教育環境で学べる条件を整備

京丹波町：園部高校「普通科」の学区とする

【主な課題等】

- 地域創生への影響
- 通学の利便性の確保
- 農業科（食品科学科）の継承

※地域の子どもや保護者のニーズの把握が必要

他府県の公立高校(全日制)における全国募集の事例

(各都道府県・市町村教育委員会、各学校のHPや聞き取りをもとに高校教育課で作成)

県名	高校名	全国募集実施の学科・コース等 (募集定員)	H28 実績	備考 (他の設置学科等)	寮
北海道	北海道おといねっふ 美術工芸高校	工芸(40)の50% (一般選抜に限る)	5	音威子府村立	○
茨城	太子清流	森林科学(40)	2	総合学科(120)	△
	海洋	海洋技術(40) 海洋食品(40) 海洋産業(40)	0		△
	大洗	普通科(120)の音楽コース (40)	15	マーチングバンド	○
	真壁	環境緑地(40)	0	普通(40)、農業(40)、 食品科学(40)	○
群馬	嬬恋	普通(64)のスポーツ・健康コ ース(16)	0	スケート実技専攻	△
	尾瀬	自然環境(32)	4	普通(32)	△
	万場	普通(64)水産コース希望者の み	0		△
新潟	海洋	水産(80)	16		○
	新潟中央	音楽(40)	0	普通(240) 普通・学究(80) 食物(40)	
	新津工業	工業マイスター(40) 日本建築(30)	0	生産工学(40) ロボット工学(40)	
	国際情報	国際文化(80) 情報科学(80)	1		○
	八海	体育(40)	3	普通(40) 家庭福祉(40)	
	新発田農業	農業(160)	0		
	加茂農林	農業(200)	0		
	長岡農業	農業(160)	0		
	高田農業	農業(160)	0		

※寮の欄 ○寮有 △里親、下宿、ホームステイ等

※H28 実績の欄 平成28年度全国募集での入学者数

※H29年度入学者選抜では、表中の高校のほか岩手、福島、栃木、鳥取、長崎県を含め22道県全134校で全国募集枠を設定

県名	高校名	全国募集実施の学科・コース等 (募集定員)	H28 実績	備考 (他の設置学科等)	寮
石川	長尾東雲	演劇(40)	0	電子機械(80) 総合経営(80)	
山梨	北杜市立甲陵	中高一貫 普通(120) 高校から入学(80)の50% (最大50人までは入学許可)	40	定員120の内40は内 部進学	○
長野	白馬	国際観光(40)	13	普通(40)	○
	飯山	スポーツ科学(スキー・野球・ 陸上競技・剣道の専攻)(40)	6	普通(120)、 自然科学探究・ 人文科学探究(80)	
滋賀	信楽	総合学科(80)の5人	4	デザイン系列、セラミ ック系列に限る	○
兵庫	村岡	普通(地域アウトドアスポー ツ類型)(80)の50%	3		△
奈良	山辺	普通(生活文化コース)(40) 生物科学(37) 各定員の10%	1	普通(学びの開拓) (40) 馬術、ライフル射撃	
	御所実業	環境緑地(37) 機械工学(74) 電気工学(37) 都市工学(37) 薬品科学(37) 各定員の10%	21	ラグビー 薬品科学は強い目的 意識がある者	
	榛生昇陽	普通(人間探究コース)(40) の10%	1	普通(総合選択)(120) 福祉(40) 自転車競技	
	十津川	普通(工芸コース)(30)の 10%	2	普通(工芸コース以 外)(40) ボート又は強い目的 意識がある者	○
和歌山	海南 美里分校	普通(40)の10%	0		
	有田中央 清水分校	普通(40)の10%	0		
	日高 中津分校	普通(40)の30%	11		○
	南部 龍神分校	普通(40)の10%	0		○

県名	高校名	全国募集実施の学科・コース等 (募集定員)	H28 実績	備考 (他の設置学科等)	寮
島根	隠岐	普通(60) 商業(30)	3	①左記の定員以外に 各校指定部活動で 県外からの入学枠 あり ②島根県立高校は、左 記の19校以外でも 各校4人までは県 外からの入学が可 能	○
	隠岐水産	海洋システム(40) 海洋生産(40)	16		○
	隠岐島前	普通(特別進学コース、 地域創造コース)(80)の30%	☆		○
	浜田水産	海洋技術(40) 食品流通(40)	7		○
	横田	普通(総合コース、進学コー ス)(120)	4		○
	飯南	普通(80)	12		○
	島根中央	普通(90)(コース制、総合選 択制)	☆		○
	矢上	普通(60)の30% 産業技術(30)の40%	14		○
	津和野	普通(80)	20		○
	吉賀	普通(40)	5		○
	安来	普通(160)	0		△
	情報科学	情報システム(40) マルチメディア(40) 情報処理(40)	1		
	大東	普通(120)	0		
	三刀屋	総合学科(160)の8%	3		○
	邇摩	総合学科(「農業」「ビジネス」 「生活」「文化」「福祉」)(120) の8%	0		○
	江津	普通(80)の10%	0		
	江津工業	建築・電気(40) 機械・ロボット(40)	1		○
	浜田商業	商業、情報処理(80)	0		
	益田翔陽	電子機械(40) 電気(40) 生物環境工学(40) 総合学科(40)	10		○
広島	佐伯	普通(40)のうち若干名	1		
	加計	普通(40)のうち若干名	3		○
	加計 芸北分校	普通(1学級)の若干名	2		△
山口	周防大島	普通(75)の10% 地域創生科(40)の10%	7		○

☆詳細はp9・10

県名	高校名	全国募集実施の学科・コース等 (募集定員)	H28 実績	備考 (他の設置学科等)	寮
徳島	那賀	普通(60) 森林クリエイト(20) 総定員(80)の5人	5		県立総合 寄宿舎を6ヶ所に設置
	海部	普通(80) 情報ビジネス(20) 数理科学(30) 総定員(130)の5人	3		
	鳴門渦潮	スポーツ科学(60)の15% (各種目3人)	6		
		総合学科(170)の2人	1		
	城西 神山分校	生活(10) 造園土木(20) 総定員(30)の5人	0		
	小松島西 勝浦校	応用生産(25) 園芸福祉(20) 総定員(45)の5人	0		
	富岡東	普通(160) 商業(40) 総定員(200)の2人	2		
	名西	芸術(45)の15%	0	普通(110)	
	吉野川	農業(農業科学(25) 生物活用(20)) 商業(会計ビジネス(25) 情報ビジネス(30) 食ビジネス(30)) 総定員(130)の5人	5		
	穴吹	普通(80)の5人	0		
	脇町	普通(210)の2人	2		
	つるぎ	電気(50) 機械(55) 建設(25) 商業(25) 地域ビジネス(25) 総定員(180)の5人	0		
徳島	池田	普通(145) 探究(35) 総定員(180)の2人	0		
	三好	食農科学(20) 環境資源(15) 総定員(35)の5人	0		
鹿児島	楠隼	中高一貫(60)	11		○
沖縄	久米島	普通(80) 園芸(40) 総定員の10人程度	7	全国募集ではなく町の里親制度を活用	○

全国募集の詳細例(島根県)

■ 島根県立島根中央高等学校（募集定員 90 人、制限なし）

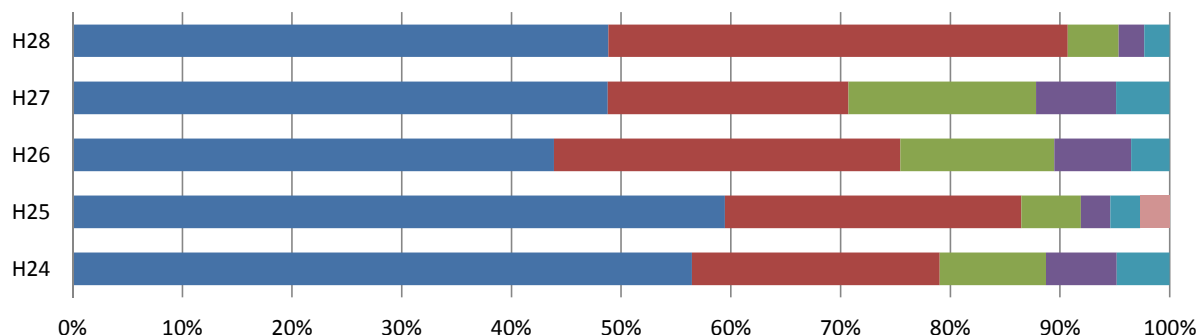
設置学科	普通科 総合選択制（人文科学、自然科学、地域デザインコース）								
背景	・平成19年に島根県立川本高等学校と邑智高等学校が統合し、新しく島根県立島根中央高等学校として開校 ・平成24年度から「離島・中山間地域の高校魅力化・活性化事業」を実施 ・地域と一体となり「島根中央高校まちごとキャンパス構想」を策定 （学習環境・部活動の充実、キャリア教育推進、プロモーション推進、生徒受入体制の強化、魅力化事業の推進体制の強化）								
県外合格者の推移	年度（平成）	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	県外の合格者数	0	0	4	5	5	18	22	34
	全合格者数	85	81	77	87	70	82	76	90
	※平成26年度までの募集定員は120人 ・平成28年度に在籍している県外出身の生徒数75人（全校242人） ・11都府県67中学校（東京、神奈川、大阪、兵庫、広島 等）								
学校の特色	・地域を学習の場とした「まちごとキャンパス学習」や「ふるさと学」を開講 ・平成24年ユネスコスクールに認定								
町の主な施策	・町営の学習交流センター（第2寮）を整備 （生徒の長期滞在型の研修施設として、閉校した小学校を改装） ・魅力化コーディネーターを配置（2名：情報発信・生徒募集、学習環境充実） ・町や後援会と連携した通学・寮費助成、スクールバス運行								
その他	・県外（東京・大阪・広島）での学校説明会や東京・大阪の塾関係者への広報活動にも力を入れている。 ・構想での目標入学者数の設定値 県内65人＋県外25人＝合計90人 （地元中学校からほぼ全員、周辺中学校から4～5割の入学を目標設定）								

■ 島根県立隠岐島前高等学校（募集定員 80 人中 24 人＋レスリング部 2 人以内）

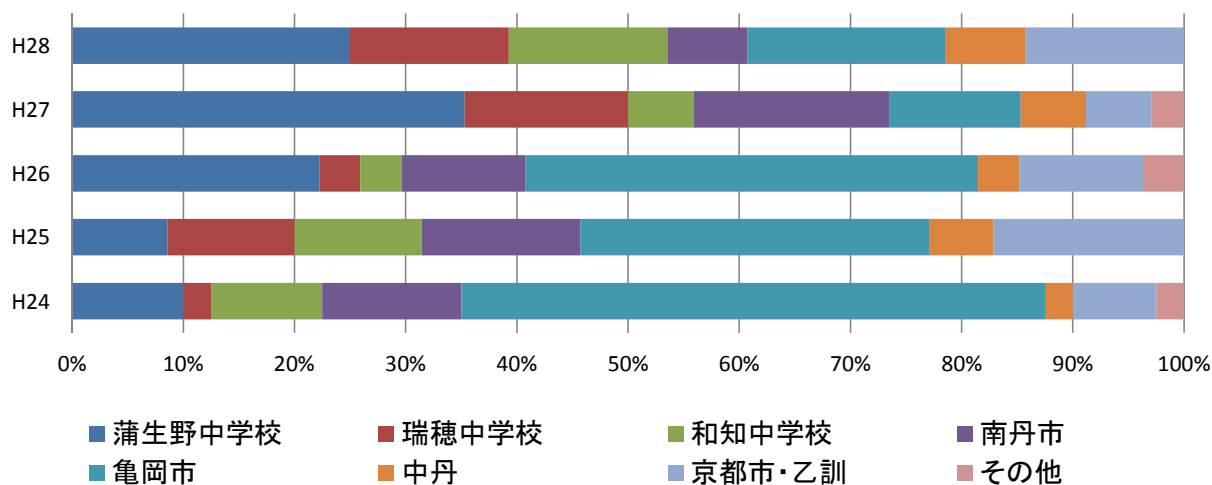
設置学科	普通科 特別進学コース・地域創造コース																																			
背景	・昭和 33 年全国で初めて全日制の分校となる（地元負担で校舎建設し独立） ・少子化の影響で入学者が激減し、各学年 1 クラスになる ・平成 17 年から 3 年間で常勤教員が 7 人減少（物理が履修不可能に） ・平成 20 年度の入学者数は 28 人に  ・島からの提言「隠岐島前高等学校魅力化構想」～島内外から生徒が集まる高校づくりに向けて～を発表（平成 21 年 2 月） ・提言の要旨 ①魅力的なカリキュラム編成 ②教員数の確保 ③学力向上とキャリア教育の充実 ④部活動の魅力化 ⑤交流の促進 ⑥寮の活用 ⑦島内外への PR 活動の充実																																			
県外合格者の推移	<table><tr><td>年度（平成）</td><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr><tr><td>県外の合格者数</td><td>0</td><td>3</td><td>8</td><td>21</td><td>19</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td></tr><tr><td>全合格者数</td><td>33</td><td>33</td><td>40</td><td>59</td><td>45</td><td>59</td><td>57</td><td>65</td></tr></table> ・平成 29 年度推薦選抜は県外から 44 人が出願し、24 人が合格内定（他、スポーツ特別選抜に 1 人）									年度（平成）	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	県外の合格者数	0	3	8	21	19	24	24	24	全合格者数	33	33	40	59	45	59	57	65
年度（平成）	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28																												
県外の合格者数	0	3	8	21	19	24	24	24																												
全合格者数	33	33	40	59	45	59	57	65																												
学校の特色	・部活動の充実（全国大会出場のレスリング部） ・スーパー・グローバル・ハイスクール（平成 27 年度より）																																			
町の主な施策	・子育て支援条例 結婚祝金、すこやか祝金（出産祝金）、妊娠・出産、子どもの通院等に係る交通費助成、保育料軽減、転入児童生徒等奨励金、乳児医療、チャイルドシート購入費助成、一般不妊治療費助成事業、海士町頑張る子ども応援事業補助金（大会参加補助） ・海士町子育て支援金 ・隠岐島前高等学校・鏡浦寮に係る支援制度（入寮費、寮費の半額、里帰り交通費補助） ・隠岐國学習センター（公営塾、有料）設立（平成 22 年 6 月）																																			
その他	島前高校魅力化プロジェクト策定（目指すもの） 1. 生徒一人ひとりの夢の実現 2. 地域の未来をつくる人財の育成 3. 持続可能な魅力ある学校づくりの推進																																			

須知高校の入学者状況（出身中学校別）

◆普通科



◆食品科学科



年度		普通科					食品科学科					総計				
		H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28
京丹波町	蒲生野中学校	35	44	25	20	21	4	3	6	12	7	39	47	31	32	28
	瑞穂中学校	14	20	18	9	18	1	4	1	5	4	15	24	19	14	22
	和知中学校	6	4	8	7	2	4	4	1	2	4	10	8	9	9	6
	計	55	68	51	36	41	9	11	8	19	15	64	79	59	55	56
南丹市		4	2	4	3	1	5	5	3	6	2	9	7	7	9	3
亀岡市		3	2	2	2	1	21	11	11	4	5	24	13	13	6	6
中丹							1	2	1	2	2	1	2	1	2	2
京都市・乙訓							3	6	3	2	4	3	6	3	2	4
その他			2				1		1	1		1	2	1	1	0
合計		62	74	57	41	43	40	35	27	34	28	102	109	84	75	71
募集定員		80人	80人	80人	60人	60人	40人	40人	40人	40人	40人	120人	120人	120人	100人	100人
定員割れ人数		18人	6人	23人	19人	17人		5人	13人	6人	12人	18人	11人	36人	25人	29人

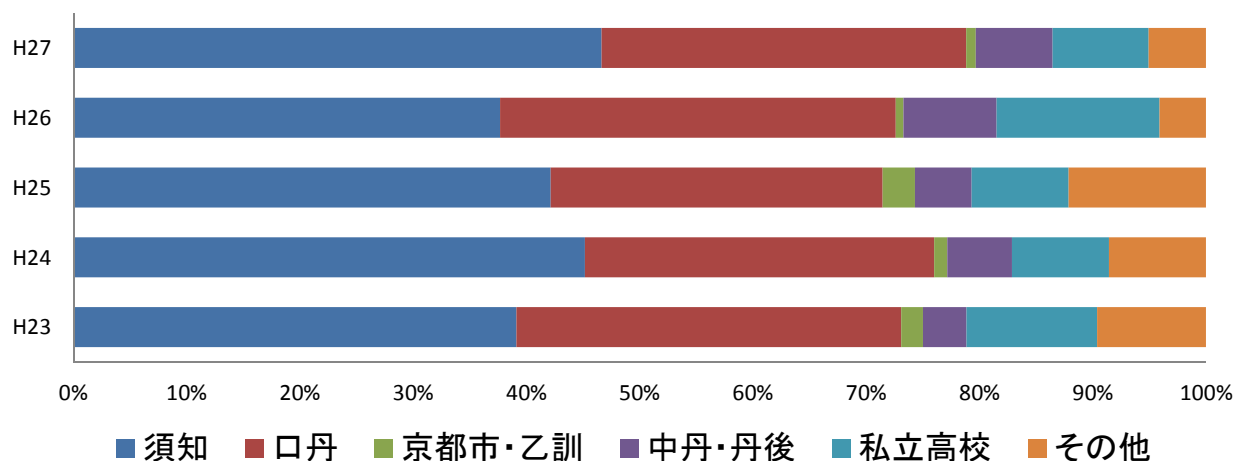
○普通科の入学生は地元の中学校出身者が大半である。 (人)

○食品科学科は地元以外の生徒が半数程度を占めている。

○普通科、食品科学科 (H24除く) とともに、入学者が募集定員に満たない状態が続いている。

地元中学校（京丹波町）卒業生徒の進路状況

◆京丹波町立中学校（蒲生野・瑞穂・和知）卒業生徒の進路状況（3校の計）



年度			H23	H24	H25	H26	H27	
全 日 制	須知		普通	52	68	51	36	40
			食品科学	9	11	8	19	15
			計	61	79	59	55	55
	口 丹 通 学 圏	亀岡	普通	11	6	9	12	3
			数理科学	6	4	3	4	4
		南丹	総合学科	8	11	5	9	5
		園部	普通	19	24	20	18	18
			京都国際	8	4	3	7	7
		農芸	農業学科群	1	5	1	1	1
		計		53	54	41	51	38
		京都市・乙訓通学圏		3	2	4	1	1
	中丹・丹後通学圏		6	10	7	12	8	
	私立高校		18	15	12	21	10	
	その他（府外も含む）			15	15	17	6	6
	合計（3校の卒業生徒数）			156	175	140	146	118

（人）

○京丹波町立中学校3校の卒業生徒に占める須知高校への進学割合は約4割である。

○全体の約3割が口丹通学圏の他の府立高校に進学しており、そのうち園部高校が半数以上を占める。

口丹地域の高校毎の通学区域等

[全日制課程]

学校名	学科	通学区域	
		通学圏等	学区
北桑田	普通科	口丹通学圏	京都市(周山中学校の通学区域に限る。) 南丹市(美山中学校の通学区域に限る。)
	森林リサーチ科	府内全域	—
亀岡	普通科	口丹通学圏	亀岡市
	普通科 (美術・工芸専攻)	京都市・乙訓通学圏 口丹通学圏 ※調整区域: 山城通学圏、中丹通学圏、丹後通学圏	—
	数理科学科	府内全域	—
南丹	総合学科	亀岡市の区域 ※調整区域: 京都市・乙訓通学圏、山城通学圏、 口丹通学圏(亀岡市の区域を除く)	—
園部	普通科	口丹通学圏	南丹市(他の学区に属する地域を除く。)
	普通科(中高一貫)	—	—
	京都国際科	府内全域	—
農芸	農産バイオ科 環境緑地科	府内全域	—
須知	普通科	口丹通学圏	京丹波町
	食品科学科	府内全域	—

[定時制課程] (通学区域は府内全域)

学校名 (分校名)	学科
北桑田 (美山)	農業科
	家政科

★口丹通学圏の高校(普通科)にあつては、当該高校の学区を除く通学区域から入学できるのは、普通科募集定員の20%以内とする。なお、前期選抜については、中丹・丹後通学圏からも志願できる。

例) 北桑田高校の場合: 普通科募集定員60名

・・・周山・美山中通学区域以外から入学できるのは12名まで

(参考) 口丹地域から志願可能な管外の高校・学科[抜粋]

学科	学校名	学科	学校名	学科	学校名
農業※	桂	情報	京都すばる	その他専門	南陽
	綾部(東)	福祉	京都八幡(南)		福知山
	峰山(弥栄)	体育	乙訓		西舞鶴
工業	田辺	音楽	京都堀川音楽		西京
	工業	美術	銅駝美術工芸		京都工学院
	峰山	その他専門	山城		堀川
	京都工学院		鳥羽		紫野
商業	京都すばる		嵯峨野		塔南
	大江		桃山	総合	久美浜
水産	海洋		城南菱創		
家庭	峰山(弥栄)		京都八幡(南)		

このほか、普通科(スポーツ総合専攻、総合選択制、単位制)で志願できる高校が複数有り

※農業科のうち桂及び綾部(東)は対象外区域有り